

レイカ大津支部会報 かけはし

78号

2022(令和4)年9月発行

[発行] レイカディア大学同窓会大津支部

<https://lacadosokai.com>



目次

2

巻頭言：「私のボランティア活動」
大野 光男（地域活動部会長）

3

支部・本部行事報告と計画
藤田 順一（支部長）

4

部会だより
健康部会・文化部会
研修部会・地域活動部会

9

小学校支援活動実績表および
まちなか支援活動実績表

10

知名度向上委員会だより

11

事務局からのお知らせ

12

地域だより

14

広報部取材：「小学校卒業式・
入学式にパンジーを」

15

会員投稿

20

会員文芸・会員動向・編集後記



「イキイキふれあい祭り」
アル・プラザ堅田（7月1～4日）

WITHマスク 着けてよし！外してよし！みんなよし！！

熱中症予防のためにも過剰なマスク着用は控えましょう
県民みんなでお互いを尊重しながら暮らしましょう

マスクが必要な場面

- 屋外において他の方と十分な距離が取れる時
- 屋内において2m程度の距離があかつ、会話がないうち
- 外出時に屋外ですれ違う程度
- 運動時（屋内外問わず）
- 未就学児（屋内外問わず）

マスクが不要な場面

- 換気が悪い場所
- 濃厚接触者に該当する時
- 対面で会話をする時

※2歳以上の子どもの着用は一律には求めていません。マスクを着用する場合は、保護者や周りの大人が子どもの体調に十分注意した上で着用しましょう。

※接触を伴う運動の場合は、各競技団体が作成するガイドライン等を確認してください。

滋賀県

滋賀県 HP より引用

私のボランティア活動

地域活動部会長 大野 光男 (39期 びわこ環境・堅田)

8月の役員会で広報部会長から「かけはし」78号の巻頭言を依頼され、内容は何でも良いとの事なので、今私が行っている活動について紹介します。

私のボランティア活動はレイカディア大学に入学してからです。皆さんが全員経験された入学後1カ月から始まる「地域活動体験学習」がきっかけです。

《現在ボランティア活動中の団体》

・「古都おおつ観光ボランティアガイドの会」

平成13年設立。当会は近江国庁跡・瀬田唐橋・石山寺・膳所城址・大津街歩き・三井寺・大津京遺跡・近江神宮・延暦寺・日吉大社・西教寺・浮御堂・小野神社等大津市内全域の観光名所をご案内します(34名)。



・びわこ地球市民の森 森づくりサポーター「LBK39」

平成30年6月～平成31年3月に森づくりセンターにおいて「森づくり講座」を受講、修了後毎月第4火曜日に活動。39期びわこ環境学科20名登録済。間伐作業を中心に活動中。



・「衣川台オアシス公園愛護会」

衣川台にある東・西・南・北の遊園地、児童公園及び国定史跡衣川廃寺跡の日常維持管理作業の実施、衣川台地域内周辺の除草作業ボランティア、自治会、老人クラブが実施する奉仕作業への積極的参加を通じて、高齢者の生きがい、地域住民同士・若者との交流を図る(34名)。



・レイカディア大学同窓会大津支部(地域活動部会)

同窓会の会員として、小学校支援(校庭美化)をメインに活動をしています。主に屋外作業であり、会話の頻度も少ないのでコロナ感染の危険性は低いです。参加者は元気な高齢者ですが、力仕事ですから作業時間は短く、早く終わる事が大事なことです(コロナ感染防止対策上においても)。

解決策は一つで「**多人数で作業する事**」だと思います。作業は大まかに①植木の刈り込み、②草刈り、③低木の剪定、④ゴミの袋詰め(人手)です。

中でも一番手間と時間が掛かるのが④の袋詰め作業です。9月から後期の作業が始まりました。今後一人でも多くの方に参加して頂きたいです。

「～無理しない! 出来る時に、出来ることを、出来る範囲で!～そして楽しく」。

まとまりのない文章で、最後は皆さんへのお願い事になってしまいましたが、私はこれからもNNK(ネンネンコロリ)にならず、PPK(ピンピンコロリ)で終わられる様、地域活動に努めていくつもりです。

(1) 大津支部納涼会について

大津市在住の 42 期生は全員が大津支部に入会され、親睦交流の重要性は高まっているが、親睦交流の大切な行事であった「新年会」をコロナ禍で 2020 年度、2021 年度と 2 年連続して開催出来なかった。更に、「新入会員歓迎会」は時間の制約から規模を縮小し、「レイカ大津の集い」は開催出来ていない。

親睦交流の行事を工夫する必要から、総会議案書に企画検討の承認を受けて、5 月と 6 月の執行役員会・役員会で「大津支部納涼会」の検討を行い、6 月の役員会で審議を経て開催が承認された。

9 月 5 日（月）びわ湖大津プリンスホテルで納涼会を開催するとして案内をしたが、コロナの第 7 波に重なり延期をした。8 月末に何とか 7 波のピークとなれば、2 カ月半を経過する頃には落ち着いて来る事を期待して、ホテルと調整して 11 月 14 日（月）に開催を延期した。9 月末の役員会で開催の承認を受ければ再度の参加案内をする。

(2) 44期学生募集の結果

草津キャンパス募集 145 名に対し 182 名（うち大津市から 90 名）、彦根キャンパス募集 70 名に対し 84 名の応募があった。大津市から多くの応募に繋がった事は、大津支部会員の協力・努力の結果であり、母校の発展に寄与することが出来た。

募集活動に会員のクチコミ活動、平和堂石山とアル・プラザ堅田での作品展示と募集活動、瀬田地域の募集要項の配布とポスター掲示、比叡地域の組回覧とポスター掲示、大津市公共掲示版にポスター掲示等の多くの活動が起きた。

平和堂店頭入口の募集パンフレット配布活動は、瀬田地域 4 回、石山地域 3 回、中央地域 4 回、比叡地域 6 回の計 17 回実施して延べ 107 名の参加を得た。大津市在住の 43 期生からも体験学習を兼ねたパンフレット配布活動に多くの参加者を得たので卒業後の同窓会入会動機につながるのではないかと期待している。来年度はさらに多くのフレンドマート店頭で配布活動ができるよう平和堂に働きかけたい。



(3) 同窓会本部グラウンドゴルフ大会

昨年、同窓会発足 40 周年記念行事として本部グラウンドゴルフ大会を実施して参加人数も多く好評であった事から、グラウンドゴルフ大会の継続開催を期待する声を受けていた。6 月 29 日（木）の常任理事会で県内 9 支部グラウンドゴルフ大会について話し合わせ、開催が承認された。

開催日：11 月 22 日（火）

場所：ドラゴンハット（竜王町）

9 支部からグラウンドゴルフ運営担当者を選出し、9 月 7 日（水）に担当者会議を開催して、当日の各支部の役割、団体戦の有無、個人戦参加人数の範囲、賞品等を検討する。

大津支部の運営担当者は、一色 実（本部理事）、河村良一（昨年の団体戦出場者）。大津支部長が座長として会議を進行する。

10 月 3 日（月）の本部常任理事会で経費関係を承認後、支部参加者の募集案内をする。40 周年記念グラウンドゴルフ大会と同様に多くの参加者を期待する。

部会だより

「健康部会」 ～たのしく なかよく 元気よく！～

❖第1回室内スポーツ大会の報告

厳しい暑さの中、7/11（月）に皇子が丘公園体育館で第1回室内スポーツ大会を42名の参加を頂き実施しました。皇子が丘公園体育館は交通の便も良く、安い料金で使用でき、クーラーも完備なので、涼しい中での開催になり、熱中症の心配もなく無事終了。参加料も値下げし100円にしました。在校生が4名も参加して頂き感謝します。次回以降も在校生との交流の場を設けたいと思います。今回の実施種目は下記の4種目です。

① ディスコン

ジャンケンで勝ったチームが目標となる白い円盤を投げる。赤と青の円盤を持った各チームが交互に円盤を投げ、白い円盤近くを目指して投げる。勿論、近くの円盤に当てて弾き飛ばす事もOK。まるで、イジワルのし放題かの様です。目標の円盤に一番近くに投げたチームのみが勝ち。たった一人の一投が勝敗を決めるので応援も半端ではない。



② クロリティ

写真ではわかりにくいですが、要するに輪投げ競技です。対戦の2チームが投げて得た得点の合計で勝ちチームを決めます。これが意外と難しく、なかなか目標のピンに入らなくて、獲得点数ゼロの方も多数おられました。交互に輪を投げ、各チームの応援合戦も熾烈と言わざるを得ません。



③ スカットボール

マットの上にスカット台を乗せて、ボールをスタートラインからスティックで打って、スカット台の得点穴に入れて点数を競うゲーム。グラウンドゴルフ上級者もビックリのラインの読みが外れガーター続出に笑い声（失笑かも）。



④ ストライクアウト

マジックシートにくっつきボールを投げ、獲得点数で勝ちチームを決めます。ボールが軽くて、コントロール出来ないのが苦戦される方が続出。初めて室内スポーツ大会用のゲームに採用しましたが、楽しく遊べて好評でした。



次回は、レイ大所有の多数のゲーム（42種目もある）の中から、新しく楽しいゲームを厳選して既存ゲームと併せて実施したいと思います。ご期待ください。

下記は記念写真と優勝のAチームの皆さんの写真です。Aチームの皆さん、おめでとうございます。ちなみに優勝豪華賞品はティッシュ1箱です。



「文化部会」 ～趣味をふかめて たのしく学ぼう！～

❖市民陶芸体験講座(5月13日)の作品について

受講者18名の作品が中野清様のご支援により乾燥、素焼き、施釉、本焼成の工程を経て出来上がりましたので、7/23(土)に大津市生涯学習センター301号室で受講者に手渡されました。大変丁寧な作業に加え、釉薬の種類も豊富でレベルの高い作品が多く、リピーターが多いことが頷けます。



❖文化部会の今後の計画

1. 市民陶芸体験講座 10月7日(金) 9時～15時
手渡し日 12月10日(土) 9時～10時
今回は大津市広報のイベント伝言板でも公募します。

2. 同窓会大津支部作品展

10月～12月は大津市生涯学習センターギャラリーの予約が取れず、来年1月以降の開催となります。すでに平和堂関係の展示会はありましたが、出展の準備を宜しく願います。

❖アル・プラザ堅田での「イキイキふれあい祭り」報告

- ① 日時：7月1日(金) 15時～4日(月)13時、会場：アル・プラザ堅田1階
- ② 展示作品の種類と作品点数
書：11点、 絵画：4点、 絵手紙：12点、 陶芸作品：82点、 竹灯籠：22点、
パッチワーク：2点、 仏像彫刻：1点、 ステンドグラス：5点、 土笛：31点、
オカリナ：6点、 帯の手作りカバン：5点 **合計：181点**
- ③ 来場者数
7/1：44名、7/2：596名、7/3：630名、7/4：229名 **合計1,499名**

④ 所感

- ・今回は展示作品の種類が多く、バラエティーに富んだ内容となった。
- ・台風による雨にもかかわらず来場者数は過去最高の1499名となった。
- ・竹灯籠の作品は細かい細工に感心された方が多く、時間をかけて観察されていた。また作り方への質問も多くあった。
- ・仏像彫刻への関心も高く、細かな彫りや表情豊かな所に感心されていた。
- ・スタンドグラスの作り方への質問があり、説明を求められた。
- ・43期生の陶芸作品のレベルが高く、2年足らずでここまで作れるようになるのかと感心され、入学して教えてもらいたいと興味を示された方がいた。レイ大の知名度向上、44期生募集活動に貢献できたと思われる。
- ・レイ大の学生生活と作品展の関わりについての質問もあった。クラブ活動があることについては理解してもらえよう説明を行った。
- ・学生募集要項を見て授業料が2年で10万円しかかからないのにこのような陶芸作品が出来るのは安いという意見があった。
- ・入り口から直接通り抜けられるようレイアウトを工夫したため、見学しやすくなり、多くの参加者の入場となった。



全体のレイアウト



土笛



紙芝居



竹灯籠



スタンドグラスと陶芸作品



絵手紙



書道同好会の作品



絵画



パッチワーク

「研修部会」

～参加して 味わおう 知る楽しさを～

1. 施設見学会（近江上布伝統産業会館、びんてまりの館）の報告

7月15日（金）に愛荘町の「近江上布伝統産業会館」と「びんてまりの館」の施設見学会を実施し、館内の責任者から丁寧な説明を受けました。例年より早い梅雨明け後の猛暑、新型コロナウイルス・オミクロン株による第7波の兆しが見受けられること等々も影響して参加者数が少なかったことは残念でしたが、41期、42期の方の参加も得て無事に開催出来ました。参加者の皆さんからは「初めて見学したのでとても興味深かった」「繊細で根気のいる作業を知りえて良かった」との感想を頂き、この見学会が好評だったのではと思っています。当日は未明まで雨が降っており開催自体も危ぶまれましたが、参加者皆様の日頃の心掛けが良いのか、愛知川駅での解散時には天気はすっかり「暑い夏空」の様相でした。



近江上布伝統産業会館：麻糸の説明



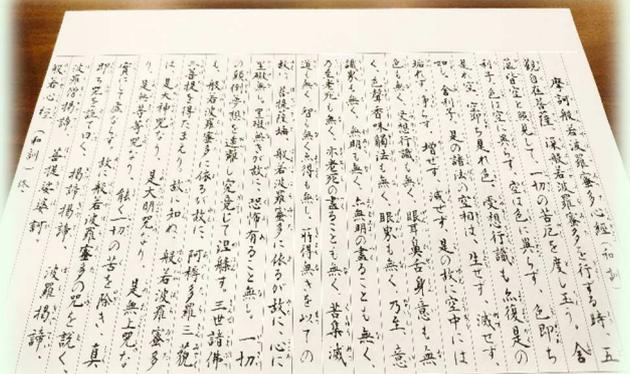
びんてまりの館：展示室でのスナップ

2. 体験写経教室の開催について(事前案内)

10月25日（火）午前10時～12時にレイカディア大学草津キャンパス第2教室で「体験写経教室」を計画しております。秋の季節、心静かに経典を写す体験を是非なさってみてはいかがでしょうか。新型コロナの影響が心配されますが、寡黙に写経する体験、第2教室での開催のため募集人員は25名程度です（三密回避のため）。講師謝礼、用紙代があり会費負担有ですが奮ってご応募下さい。詳細なご案内は別途致します。



写経教室例。過去実施の様子



写経教室例。教本の一部

「地域活動部会」

～無理しない！ 出来る時に、出来ることを、出来る範囲で！～

1. 4月1日～8月31日までの**地域活動実績**については次ページの一覧表をご参照ください。

2. まちなか支援活動のトピックス

「大津っ子祭り」(皇子が丘公園体育館)

5月14日～15日 会員11名

知名度向上プロジェクトチームと地域活動部会共同。今年初めての参加で、特にマジックショーは盛況でした。

佐藤市長もブースに来訪、陶器を購入して頂きました。

来年度も開催されれば参加する予定です。



3. 9月以降の地域活動予定

(1) 「大津祭」応援ボランティア

日時：10月8日(土) 宵宮 11:00～21:00

10月9日(日) 本祭 8:30～17:30

8月30日〆切で参加希望者25名。9月2日実行委員会へ名簿を提出済です。配置場所が決定したら希望者に連絡します。10月2日に事前説明会(中央市民センター)。

(2) 「レイカディア大学同窓会の日(仮称)」一斉清掃活動

同窓会9支部一斉参加で、湖畔・河畔の清掃活動(ゴミ拾い)

日時：10月18日(火) 9:00～10:00(雨天中止)

場所(集合)：真野浜水泳場(今堅田)

特に近場の比叡地域の会員に参加をお願いします。駐車場は近くに確保しました。

(3) 瀬田川一斉清掃活動(瀬田川クリーン作戦)

日時：10月23日(日) 8:30～9:30(雨天中止)

場所：瀬田川(左岸)、京滋バイパス北側(瀬田2丁目)

集合：帝産バス「水天宮」停留所前

特に近場の石山・瀬田地域の会員に参加をお願いします。駐車場がありませんので、徒歩、自転車で来てください。

(4) (第1回)「びわ湖マラソン2023」応援ボランティア

大津支部は一括で申し込みます。詳しい案内は9月下旬の予定です。

小学校支援活動実績表および まちなか支援活動実績表

2022(令和4)年度 小学校支援活動実績表 (4月1日～8月31日)

地域	支援項目	学校名	回数	参加者数
比 叡	校庭美化	木戸小、仰木の里小、仰木の里東小、 仰木小、真野北小、真野小、坂本小、 志賀小、堅田小、小松小、小野小、 雄琴小、伊香立小、日吉台小、和邇小、 唐崎小、真野北児童クラブ	17	158
	校庭花づくり	小松小、木戸小、真野北小、真野小、 堅田小、和邇小、小野小、伊香立小、 仰木小、仰木の里小、仰木の里東小、 雄琴小、日吉台小、坂本小、下阪本小、 唐崎小、志賀小、真野北児童クラブ	49	66
	小学校除菌	真野北小	37	37
	比叡地域合計		103	261
中 央	校庭美化	長等小、逢坂小	2	30
	図書整理	平野小	4	24
	校庭花づくり	平野小、長等小、逢坂小、中央小、膳所小	12	26
	中央地域合計		18	80
石 山	校庭美化	南郷小、石山小、青山小、晴嵐小、 南郷幼稚園、田上幼稚園、大石幼稚園	7	102
	校庭花づくり	南郷小、石山小	4	4
	石山地域合計		11	106
瀬 田	校庭美化	瀬田小、瀬田南小、瀬田東小、 瀬田北小、瀬田幼稚園、瀬田北幼稚園	10	84
	校庭花づくり	瀬田東小	8	44
	縫製授業	瀬田東小	6	42
	図書整理	瀬田南小、瀬田北小	17	84
	瀬田地域合計		41	254
大津支部 小学校支援活動 総合計			173	701

2022(令和4)年度 まちなか支援活動実績 (4月1日～8月31日)

支援項目	回数	参加者数
境内美化(建部大社)ボランティア	1	4
大津っ子祭り	2	11
平和堂作品展&学生募集支援活動	17	104
いきいきふれあい祭り・レイカディア美術展	11	139
大津支部 まちなか支援活動 総合計	31	258



龍谷大学坂本特任准教授企画のワークショップについて

知名度向上委員長 河村 良一

2022年7月7日（木）に龍谷大学学習室で、SNSでの笑顔プロジェクトの一貫であるワークショップを開催致しました。坂本ゼミの学生さん28名が来ていただき、ワークショップの企画・実施をして頂きました。

受講する側は今回も大津支部が中心となり、他団体は声掛けを頂いたそうですが不参加でした。大津支部は知名度向上委員会から10名、パソコン同好会から4名、一般参加が2名で、計16名でした。

結果 大津支部関係生徒一人に対し学生さんが1～2名ついでの受講でした。

(1) 学生さんが楽しく授業を受けられるように各種企画し、最初にアイスブレイクで自己紹介や最近楽しかったこと等の話題提供をしながらコミュニケーションを図りました。

次いで本題のInstagram (Instagram) についての講習となりました。Instagramについて初めてのグループ、携帯にアイコンを準備されているグループ、Instagramをそこそこ利用しているグループに分けて講義がスタートしました。

皆さんInstagramに対する理解度が上がり、携帯へのアイコン作成、撮影した写真からの各種投稿が出来るようになりました。また趣味の世界の写真収集等々出来るようになりました。

Instagramはパソコンとの相性が悪いとのことで当日は携帯電話を使用しての受講でした。自分で撮った写真をInstagramに投稿は出来る状態になりましたが、公開については危険認識もあるため各自の判断にお任せするようにしています。

(2) 今回のワークショップでInstagram、前回のワークショップでZOOMを受講しました。SNS関係で引き続きワークショップを企画されますので、興味のある方は次回以降参加宜しくお願い致します。



事務局からのお知らせ

❖レイカディア大学第44期学生募集応募状況と入学予定者

学生募集活動に対する皆様のご協力のお陰で今年も定員を大きく上回る応募があり、陶芸、地域文化、健康づくりの3学科は、学習環境の維持管理を考慮され、地域文化と健康づくり学科は定員+5名を受け入れることになり、8月10日にレイ大介護研修室で公開抽選が行われました。

残念ながら抽選に外れた方に対する対応など、次年度以降の課題については事務局やサポートの会などと今後検討が行われます。

❖最終の応募状況

学科	園芸	陶芸	びわこ環境	地域文化	健康づくり	合計
定員	50	25	25	25	20	145
応募者数	48	38	23	33	40	182
うち大津市在住者	20	18	12	20	20	90



公開抽選の結果（一部、辞退者含む）

❖第44期入学予定者

学科	園芸	陶芸	びわこ環境	地域文化	健康づくり	合計
入学予定者	47	25	23	30	25	150
うち大津市在住者	20	12	12	19	11	74

・この他に大津市内在住者で彦根キャンパスに入学される方2名（園芸・北近江文化に各1名）
大津支部として今年度も76名の新しい仲間の地域体験学習などの支援を通じて、次の会員獲得に向けた取組みをお願いします。

❖大津支部会員数 288名（9月1日現在）

地域	会員数
比叡	67
中央	53
石山	85
瀬田	83
計	288



Walatte(わらって)8月号に河野事務局長の地域活動が紹介されました

❖執行役員会と役員会の日程

11月4日(金)	執行役員会	9時30分～	大津市生涯学習センター
11月28日(月)	役員会	9時30分～	レイカ大大教室
12月2日(金)	執行役員会	9時30分～	大津市生涯学習センター
12月22日前後	役員会	9時30分～	会場未定
10月は、執行役員会・役員会ともありません。			

地域だより

＊比叡地域

比叡地域の校庭美化対象小学校は、中央地域の応援2校を含め計18校で、4/21(木)の志賀小学校から始め、7/27(水)の仰木の里東小学校で終了しました。週2校のペースでもギリギリで活動消化できる日程になりました。

写真は2度順延の仰木の里東小学校の実施前と実施後の様子です。伸び放題の草木を刈りそろえ、正面玄関横でもあるのでスッキリと見栄えが良くなりました。



前期は新しく2名の活動参加者が増え、レイ大の現役の応援、地元一般参加の方も加わって頂き、厳しい中でも次につながると確信できる活動になりました。後期も9月中旬より始め、出来れば11月末迄に終了できる計画を組みたいと思います。

第44期学生募集については、比叡地域でも他の地域と同様に、平和堂の各店舗で学生募集のチラシ配りを行いました。また、アル・プラザ堅田での「イキイキふれあい祭り」では、約1500名の来場者にレイカディア大学への関心を持って頂きました。これらの活動に加えて、身近な地域で学生募集のポスターが掲示され、自治会の組回覧が回ってくることは、じんわりとレイカディア大学への関心を持って頂く良い機会になっていると感じました。(一色 実)



＊中央地域

同じ地域に住む会員が顔を合わせて親睦を深める「地域ミーティング」の開催には頭を悩ませます。私が参加するようになって6年が過ぎました。過去には施設見学(自衛隊際川、びわこ競艇場)、ウォーキング、ボウリング、「うみのこ」乗船等色々ありました。



今年度1回目は4月22日に三井寺散策後風月で昼食(20名参加)。2回目は7月13日「や台ずし」膳所駅前店で飲食20名参加(内43期生4名)。地域ミーティングで初の飲み屋開催。



今後は秋に3回目、膳所周辺の隠れた名所旧跡ウォーキング(3キロ程度)を考えています。冬に4回目(忘年会?)、年度末に5回目(お別れ会?)を考えています。

今後私たちは地域ミーティングに現会員53名の7~8割が参加できるような会にしていきたいと思います。又、同窓会員募集のために43期生、44期生に大いに声掛けをしたいと思います。(首藤優克)

地域だより

✿石山地域

2022年度上期の校庭美化活動は、計画通りに4小学校・3幼稚園で事故もなく実施することができ、参加者は毎回2桁で総勢101名（在校生16名・新会員9名）となりました。

比叡地域よりヘッジトリマーを2台譲り受け、毎回安全使用の講習を行い、使える人員を充実させることにより活動もはかどり、猛暑の中で休憩を十分にとることもでき、作業時間の縮小を図ることができました。他活動として「入学式に花鉢を飾ろう」企画を比叡地域の協力を得て石山小学校と南郷小学校にて実施することもできました。

2年間実施できていなかった地域ミーティングは、30名の参加により「アクア琵琶」での研修見学と「二葉屋」での会食懇親と約3時間にわたり、ふれあいを深めることができました。

学生募集のチラシ配布は、平和堂石山にて2回、南郷店にて1回実施しました。南郷店での7月23日の開催は、募集人員がすでにオーバーしていましたので急遽中止としました。

下期計画としては9月14日に田上幼稚園をスタートして11月30日の大石幼稚園を最終として4校・3園にて実施します。また、「昔遊び体験&紙芝居・マジック」を1月17日に南郷幼稚園にて実施します。（河嶋文雄）



✿瀬田地域

瀬田地域では地域ミーティングを7月22日に41期・42期会員の方々も含め32名の参加で開催をしました。大津支部の活動報告と瀬田地域の地域活動報告をするとともに、今後予定されている行事や活動の連絡等を行いました。4月からの地域支援活動では、小学校の校庭の剪定活動、校庭花づくり活動、図書整理活動、縫製授業支援活動と、学生募集へ向けた大型商業施設前での募集チラシ配布、43期生の体験学習の受け入れなどがあり、計画通り進めることができました。これから新型コロナの影響で停滞している会員相互の交流の場をどのように作りコミュニケーションと楽しめる機会を作っていければと考えています。

地域支援活動として8月は小学校の夏休みで休止していましたが、9月から再開していきますので参加できる方は各担当者まで連絡をいただければと思います。（長 幸雄）

- ・剪定活動：瀬田北小、瀬田東小、瀬田小、瀬田南小、
瀬田北幼稚園、瀬田幼稚園、建部大社
- ・校庭花づくり：瀬田東小
- ・図書管理：瀬田南小、瀬田北小



小学校卒業式・入学式にパンジーを

取材 広報部会：福井かおる・岩田 和彦

比叡地域では毎年、地域の小学校の卒業式と入学式にパンジーの鉢植えをラッピングしてお届けしています。そのきっかけは2017年に真野公民館より、地域の花の美化活動募集があり、藤田順一さん（37期・園芸）が応募されたのが始まりです。当時真野北小学校の校庭花壇のお世話をされていた用務員さんが退職され、後継者がいなくなった後を引き継がれました。

2018年の真野北小学校を皮切りに、2019年は真野小、小野小が増えて3校に、2020年には堅田小、和邇小と増えていき、現在では比叡地域17校と中央地域の5校、石山地域2校の合計24の小学校に各30鉢をお届けしています。

鉢数は地元の花屋さんの領域を侵さないよう気遣い少なめにしています。また、全ての不織布に「レイカディア大学同窓会大津支部」のシールを貼っているため、保護者の方達にも活動をお分かり頂き感謝されています。この活動は同窓会から約20人と地域住民の方が8人ほどで作業をしています。



作業の流れは、卒業式・入学式共に

前々日：藤田さん宅→真野北小学校作業場所へ搬入

前日：720鉢をラッピング→24校に手分けして配達

当日：式が終了後に手分けして回収→真野北小学校でラッピング外し・整理・搬出
→藤田さん宅

パンジーは藤田さんがご自宅で8月に種まき、朝夕の水やり、冬の凍結時にはお湯をかけるなど春までのお世話を一手に引き受けて下さっています。

広い校庭ではと考えがちですが、常にご自身の目の届く世話がいためお庭でされていますが、たまには奥さんから小言もあるようです。

夏から春まで長い期間ですが、近所の道ゆく方たちがレイカの活動を知り、お手伝いをして下さる地元の方たちが「ボランティアが楽しい」と言ってくれるのが嬉しいそうです。

大津市内には37校の小学校がありますが、今後も無理のない範囲で増えていくことを願って、これからも地域の方たちと協働して、子どもたちの節目に花をお届けできると嬉しいです。



私のボランティア活動と趣味

近藤 修 (35期 園芸・田上)

私がレイ大に入ったのは会社の先輩の勧めで、入学して定年後の新しい出会いと生きがいが見つかった気がします。元々趣味で家庭菜園をやっていたので、園芸学科での勉強は参考になりました。地域活動のボランティアは生きがいと言えるほど10カ所以上で活動を始めました。最初に私のボランティア活動の一部を紹介します。

最初は「アクア琵琶案内ボランティア」です。アクアは国交省の「みずのめぐみ館」で、琵琶湖と洗堰の博物館です。月に2～3回、休日に来館者に琵琶湖のすがた、洗堰の歴史等を案内しています。コロナ前に比べ来館者が減少しました。すぐ隣に南郷水産センターがあり、ついでに足を伸ばす家族連れやグループの来館者が多いです。時々他府県から団体がバスで来館します。

次は「芦浦観音竹林整備ボランティア」です。レイカ0Bが運営しているNPO法人「レイカディアえにしの会」が主体となり、約7年前より竹林整備をしています。草津市教育委員会指導の下、日本文化遺産である芦浦観音寺を数年かけて、庭園、遊歩道、水路等を景観整備するものです。毎月第2火曜日に汗をながしています。まだまだ先は長いようです。

次はびわ湖フローティングスクール「湖(うみ)の子」サポーターです。湖の子は滋賀の小学校5年生の環境体験学習です。先日ニュースで60万人を達成したそうです。私はまだ数年ですが、船上で子供たちにいい思い出が残る航海をサポートします。コロナで日帰り学習になり残念ですが、従来の一泊二日航海が待ち遠しいものです。また時々「カッター体験学習」の副艇長を担当します。子供たちに長さ3メートルのオールを持って、8人で艇を漕ぎます。全員のチームワークが要求されますが、何度か練習するうちに上手く漕げるようになります。

その他のボランティア活動は次の通りです。

・瀬田公園整備ボランティア	毎月第一木曜日	8年
・レイカディア大学園芸クラブ	毎月第一月曜日	9年
・小学校校庭美化活動	不定期	9年
・県立障害者福祉センター	不定期	7年
・大津におの浜障害者福祉協会	不定期	7年



趣味については、生来身体を動かすことが好きでアウトドア中心に活動してきました。

- ① 家庭菜園：20年以上前から実益を兼ねて栽培してきました。今は40種以上を年間通じて栽培し、食卓に野菜を欠くことはありません。今年の夏は多少不作でした。今は秋冬物で多忙。
- ② ハイキング・ウォーキング・登山：「湖の辺歩こう会」というサークルに参加して12年以上、毎月第3木曜日の例会に夫婦で参加しています。年1～2回のバスハイクを実施。
- ③ 船釣り：日本海へ気の合った仲間と30年以上行っています。季節により狙いの魚、仕掛けが違い釣果も色々です。釣った魚は自分で調理します。晴天の海の上は最高です。
- ④ ロードバイク：今の自転車は4代目です。通勤に使った関係で好きになりツーリングは滋賀が中心です。夢は台湾全島一周ですが、いつのことかわかりません。
- ⑤ 歴史研究会への参加：「ふるさと田上を考える会」で活動しています。毎月例会でテーマについて議論し、結果を「市民センター便り」に掲載しています。先日は小学校で講演会実施。

人生の幸せとは健康で好きなことをして生きることではないでしょうか。そのために一日一日を大切に趣味とボランティアで過ごしたいと思います。

老師に学ぶ健康法

一色 実 (39期 びわこ環境・日吉)

比叡地域は比叡山延暦寺とのつながりが強く、坂本の散歩コースには寺社仏閣が多く構えています。コロナ禍前に、寺社の穴太積みの坂道を歩いているとき、ふと恵光院の門前に「朝粥の会」の案内を見て興味を持ち、参加しました。その後も、別の世界を垣間見た思いで、自由に参加できることもあり、千日回峰行をされた大阿闍梨さんのお話しも聞くことが出来ました。

昨年の暮れに開催された「朝粥の会」では、コロナ禍のために法話だけになりましたが、戦後初めて十二年籠山行を満行された老僧の法話を聴講しました。その老師は西教寺の隣の泰門庵の堀澤祖門住職で、93歳になられる方でした。法話の終わりに、ご自身が実践されている健康法の紹介があり、法衣のまま実技を見せて頂いたことが印象に残りました。

その詳細が記載されている書籍は、(株)春秋社の「杵を破る」で、付録の「堀澤式健康法—仙骨健康法と筋力体操法」に説明されています。

三日坊主でも良いからやってみようと思って、半年前から始めています。はじめは40分程かかりましたが、今では30分程度で少し汗をかく程度の運動です。特徴はシニア向けで、飛び上がらずに、頭の先から、首、腕、腰、腿、膝、足首、指先までの一連の動きを取り入れたメニューで、身体全体の血行を良くして、固まり易い身体と関節を無理なく解すことが出来ます。一日一回で、好きな時間にやれば良く、続けることが大事とされています。

合わせて、仙骨点（上半身と下半身を結ぶ頂点で、身体のバランスをとっているところ）を刺激する運動で、尾骶骨から7～8cm上の臀部を一日に150～200回ほど押し込むことを勧めています。

年を取ると骨は鍛えられないけれど、周りの筋肉の衰えを押し返すことが大切で、真っすぐに姿勢を整えることで気持ちも前向きになると感じています。

老師が始められたのは80歳を超えてからと聞いています。高齢だから「老化する」のはやむを得ないと考えがちですが、「老化現象」に待ったをかける方法を独自に考えて、愚直に実行されています。自分の身体を毎日「手入れ」することが身体を大事にし、人生を大事に感謝して生きることになるとの信念です。

最近、810万人の「団塊世代」に好評となっている「80歳の壁」和田秀樹著（幻冬舎新書）を拝読すると、同じ様なことが書かれていました。年をとることは仕方が無いことではなく、いつでも何かを始められることと気付き、楽しく、やってみることが大事だと思えるようになりました。皆さんも、是非、身体を労わって、元気な体で、前向きな心を膨らませてみては如何でしょうか。



恵光院



泰門庵と桜

コロナの出口を願って

堀口 唯子（26期 生活・日吉）

起床してしばらくした7時30分頃、NHKテレビから気象予報士である近藤奈央さんの元気な声が聞こえてきます。平日の毎日、同じ時間に約1分間、天気予報を担当されています。屋外からの中継なので、雨の日や寒い時もあるでしょうから「いつもご苦労さまです」と、つぶやいています。予報の最後に「笑顔あふれる一日でありますように」と言われますが、素晴らしい言葉ですね。私はその言葉が大変好きです。

笑顔あふれる一日にしたいところですが、二年過ぎても新型コロナウイルス感染症の患者数が世界中でなかなか少なくなりません。大変なことです。私も令和2年春の緊急事態宣言発令の頃から、外向きの行動はとっていません。家で閉じこもりの生活がほとんどです。足も弱り、全身の筋力は落ちますし困ったものです。さすがに2年間もこのような状況が続きましたから、どうしたら良いかと考えるようになりました。最近では感染対策をしつつ、普通の生活に戻るための話題が新聞やテレビ番組でも取り上げられていますね。コロナ禍で老若男女を問わず、多くの人が孤立して社会とのつながりが希薄になっている、孤立はストレスとなり、ストレスからある種の病気を発症しやすくなるとのことです。感染を恐れ家に閉じこもっている時間が長く続きましたので、まずは外向きの気持ちをもつように努力すること、そして感染に注意しながら少しずつでも人とのつながりを戻していくことだと考えました。

拙宅の近所には数年前に引っ越して来られたご家族があり、7歳、5歳、3歳の可愛いお子さんがいらっやいます。ご家族でいろんなところへ遊びに行きたい年代でしょうが、コロナ禍で我慢されていることも多いのではと思っています。自宅前できょうだいで遊ぶひと時が楽しみの一つかもしれません。ボール遊びなどのにぎやかな声が聞こえたら、マスクをして積極的に外へ出て、子供さんやご両親に声がけをしています。2年間控えてきた趣味のサークルも、対面での会合を再開し、少し顔を出しただけですが1歩前進したように思います。

コロナだけでなく、ロシアの戦争や知床観光船の事故など、悪いことがどんどん重なっていくような令和4年となりました。おまけに最近では地震がよく起きるようになっていきます。小さな地震でも気持ち悪いものなのに、東北の大震災のような大地震が来るのではと、心配は尽きません。家に籠っていると心配事ばかりが頭をよぎりますが、こんな時こそ感謝の気持ちをもって毎日を過ごさないといけないと思っています。家で暮らせること、家族がいること、友達がいること、食事が出来ること、そのほか当たり前と思っていることにも「ありがとう」という気持ちを持ち続けたいと思います。

一日も早くコロナが収束してくれますことを祈りつつペンを置きます。

自然科学と地球科学は面白い

長 幸雄 (40期 地域文化・瀬田)

子どものころから自然科学の本を読むのは好きだった。物理学や自然科学は飽きることがない。昨年から地球科学の本を読むようになって、宇宙の成り立ちから太陽系と惑星そして地球がどのように生まれ 45 億年どのような変遷をしてきたのかなど多分野の見解を楽しむ広さがある。

超新星での多くの原子が生まれ重力により太陽系が作られていき小惑星へそして惑星が形成されていく過程が科学の発展の中で新たなことが解明されていき定説が変わってきている。

地球の誕生と月の形成、マグマオーシャン、スノーボールアース、大気の構成変化、水惑星となった地球、地球環境の変化、プレートテクトニクス、生命の誕生、酸素のある地球、生命の進化、大絶滅、氷河期、人類の進化、ホモサピエンス、細菌と生物の共存、遺伝子、DNA など広範囲の研究分野で 20 世紀以降多くの発見と学説が生まれ、定説と言われるものが変化してきたのを振り返ることが出来る。



NASA より引用

自然の「なぜ」を疑問に感じて究明していこうとするのは現人類の特性だと思う。アラビア、ギリシャ、インド、中国などでの地球と宇宙を研究する自然科学からコペルニクス、ガリレオ、ケプラー、ニュートン、アインシュタインへとつながり 20 世紀後半から大きく飛躍して現代に至る流れとなってきた。

研究分野も多岐にわたり細分化したり融合したりしながら発展進化してきていることで多彩な研究分野が生まれ新たな学説が生まれ、批判と時間をかけた検証と発見の中で新しい定説と次につながる流れとなっていくのがわかる。

「なぜ」「どのように」を学者や専門家が記した多くの本を読めるのはありがたいことだと感じている。定説となる前の研究段階や論文の解説など、科学であることから理論と論理性と実証するものが必要ではあるが、今は何でもありの時代なのだとわかりつつ楽しめることがある。

自然科学、物理学、天文学、工学、生物学、医学、薬学、社会学など多分野の発展が現代文明や社会や生活に急激な変化と便利さをもたらしてきた。ただ地球上で哺乳類の中で人類が環境を変化させて急激な人口増をしてきている。単細胞の細菌の歴史は 35 億年、多細胞生物は 6 億年程度の歴史を持っている中で現人類は数万年でしかなく、地球の歴史から見ればほんの短期間の 20 世紀以降 100 年もせずに生活環境を改革することで 70 億まで人口が増えてきた。

銀河系、太陽系の数億年～数十年で変化する宇宙環境の影響を今までも受けつつ地球の環境が変化してきていることと人類の環境改革による地球環境の変化とがどのように作用していくのかはいろいろな予想が出されているが、誰もが未経験でありわからないことだらけであるのが現在だと感じている。

山田隆造さんと一緒に活動して

釜淵 佳明 (35期 びわこ環境・膳所)

初めて山田隆造さんに出会ったのは大津市公園緑地協会主催の「ハートフルガーデナー園芸福祉養成講座」の修了式(平成23年9月)の席でした。9日間の講座を修了するにあたり、同講座の修了生が活動するボランティアグループの紹介がありました。そこに山田さんがおられ、ボランティア活動を熱く語るその姿に惹かれて山田さん率いるグループ「園芸福祉おおつ」に加入しました。

4つの福祉施設の花壇の他、大津駅前やなぎさ公園など公共の花壇の管理をするグループの会長として会の運営を初め、市社協との連絡調整や他のボランティア団体と連携するなど広く『ボランティア活動の推進』に尽力されていました。一方、園芸福祉養成講座の受講を終えた後の私は何か物足りなさを感じていたもので、園芸技術のステップアップを求めてレイ大に入学しました。ただ入学は園芸学科ではなく、びわこ環境学科になってしまったのですが・・・

2年間の学業を終え、卒業と同時に同窓会大津支部に入会しました。入会直後の10月にあった「新入会員歓迎会&レイカ大津の集い」に出席した折、会場で山田さんにばったり出会い「あれまあ」でした。その後地区の幹事になり役員会に出席するようになると山田さんは会計監査(その後顧問)であることを知りましたが、同窓会大津支部における山田さんの偉大な功績は知る由もありませんでした。

その後、園芸活動にも同窓会の役員会にも欠席されることが多くなり、体調を崩されていることは風の便りで聞いていたものの「どうしたのかなあ」とただただ心配するばかりでした。平成30年3月会計監査の印をもらいに山田さん宅を訪問しましたが、「杖がないとね。重いものも持てなくなった。庭の手入れもできなくて」と言いながらハンコをくださったのが最後の出会いになりました。

そんな山田さんの同窓会大津支部の設立や活動規模の拡大における多大な功績は、かけはし71号(令和2年12月号)の巻末にあった元支部長佐瀬章男氏の「山田さんをしのんで」の文章からでした。時すでに遅し!でしたが、身近で園芸ボランティア活動をしながら「ボランティア活動とは」「シニアにとってのボランティア活動とは」の教えを受けたことを喜びとともに誇りに思っています。

今も役員会でレイ大草津校への行き帰り、近江大橋を自転車で渡っていると、向こうから白い髪の毛をなびかせて自転車をこいでやって来る山田さんに出会える気がしてなりません。びわ湖の上から我々の活動を見守ってくださっていると思います。自転車愛好者としても良き仲間でした。



会員文芸 俳句

(二十九期 文芸)

兼題 「片蔭」「蕎麦の花」「当季雑詠」

瀬田南 大坪石山

片蔭をわき目もふらず部活生

谷深き落人の村蕎麦の花

志賀 岡田一也

蕎麦の花家路はすでに暮れにけり

蝉時雨蝉の骸は土に伏し

晴嵐 久保貞邦

山里を白く清める蕎麦の花

絶え絶えの我を鞭打つ大西日

瀬田月輪 勝田幸川

片蔭へ棚はみ出して小商い

夏雲を湖へ押し出す四方の嶺

会員動向

大津支部会員数 **288名** (9月1日現在)

編集後記

コロナ禍が落ち着いてきたと思われたとたんに、感染者の急激な増加が生じ、いまや第7波の真最中です。ちまたでは感染防止対策をとった上で、3年ぶりというイベントが開催されています。そんな中、大津支部でもいくつかの行事が無事開催され、会員相互の親睦が深められました。納涼会の延期は残念でしたが、いましばらくはコロナの動向を見極めたいものです。

編集委員

岩田和彦・藤田順一(志賀) 福井かおる(唐崎) 大塚庸行(打出) 釜淵佳明(膳所)
大平恭文・小篠伸二(晴嵐) 脇田 進・遠藤修一・河野安明(南郷)
稲田伸子・中村 登(瀬田) 宮下康子(瀬田北) 中村健一郎(瀬田月輪)

「かけはし」への投稿については、下記編集委員までお問い合わせください。
中村 健一郎 knakamura4097@gmail.com

レイカディア大学同窓会 大津支部会報「かけはし」78号

発行責任者 大津支部長 藤田 順一
編集責任者 広報部会長 中村健一郎
2022(令和4)年9月28日発行

*投稿・応募・申込み等の個人情報について

レイカディア大学同窓会大津支部宛の投稿・応募・申込み等(電子媒体含む。以下原稿と言う)で得た個人情報は事前説明無く、当該投稿等に関する用途以外に使用せず、適宜、適切に破棄します。投稿内容及び氏名、年齢、生年、域・地区、卒期・学科名は当会発行媒体に掲載することがあります。

